

残暑お見舞い申し上げます！

《昨年8月下旬の様子》



《イネの花》

みなさまは、この夏をどう過ごされましたか？

新しい家族を迎えたり、サッカーのW杯で盛り上がった、美味しいお店をハシゴしてみたり・・・

たくさんの楽しい時間に満たされた方にも、これからの目標に向かって、今は踏ん張り時の方にも、みなさまに素敵な秋が訪れますよう願います。

さて、園内では、今年もまた、郷愁を誘う独特の香りが漂うイネの花の季節になりました。

実りの秋に向けた晩夏の香りも、どうぞお楽しみください。

とは言え、暦の上では立秋を過ぎても、今しばらくは暑さも続きそうです。お出かけの際には、日傘や帽子、水分補給もお忘れなく！

『避暑散歩』のススメ③

暑さも、もう少し続きそう、ということで、前回、前回に引き続き『避暑散歩』のススメ。今回おススメするのは、迷路のようになっている丸屋奥。

直射日光が痛いくらいの蓮池周辺から、茅葺きの丸屋奥へ歩みを進めると、くねくねした園路が続く「この先は、一体どうなっているんだろう？」と、ワクワクした気持ちになります。太陽がキラキラと良く晴れた日でも、頭上を高木が覆い、見上げてもしレース編みの模様のように重なる葉裏の向こうに、控えめな太陽光を感じるだけです。かすかに聴こえるのは、白糸の滝を流れ落ちる水の音。聴覚からも涼を感じたら、「気持ちイイね〜」思わず口にしてしまいそうな場所です。



さらに、もう少し涼しくなりたい方には、西門チケット売場奥の売店『葵屋』で販売中のかき氷や、ソフトクリームもおススメです。

さらにさらに、もっと涼しくなりたい時は、西門チケット売場前・涵徳亭内の『びいどろ茶寮』をおススメします。涼しい部屋の中で、園内の景色もお楽しみいただきながら、冷たい抹茶やあんみつ、かき氷などで、ひと休みはいかがでしょう？
(『びいどろ茶寮』は不定休です。営業日は当園HPやお電話などでご確認ください)

刻印石(こくいんせき)を探そう

当園の歴史や景観をご堪能いただいた後、さらにお楽しみいただきたいのが今回ご紹介する「刻印石」です。

飯田橋側の西門を出てすぐ、右手の『江戸城外堀石垣を再利用した石積』の案内板をお読みいただいたら、さらに右へ。しばらく進むと、築地塀の石積みの下の歩道の上に、下の写真のようなプレートが設置されています。

江戸城外堀石垣材再利用範囲

このプレートを目印に赤矢印の方向の石積みを探していただくと、右写真のように、文字や文様が刻まれている石をご覧ください。



古い時代、城郭や石垣を築いた際、石材の産地や普請を担当した大名、

石工たちの印などとして、文字や文様が刻まれた石材が「刻印石」と呼ばれます。

ここに積まれているものの一部は、江戸城鍛冶橋門北側外堀跡(千代田区丸の内一丁目)から出土した石垣の石材を使い、当園が造られた江戸時代初期(17世紀初頭)の“打ち込み接(は)ぎ”と呼ばれる技法を使い再現されました。

上の写真の⑩は、備中(現在の岡山県)成羽(なりわ)藩主山崎家の印です。また、石積みの中には、石を割る時に用いられた“矢穴(やあな)”が遺る石もあります。

江戸城の普請に使われた石材の多くは、海上輸送の利便性や、石材の質の良さから伊豆半島を採石地としているようです。大きくて重い石材を切出し、運び、積み上げた多くの職人たちに想いを馳せつつ、「刻印石」を探してみませんか？

庭園ガイドツアー休止のお知らせ

ご好評をいただいているガイドボランティアによる庭園ガイドツアーですが、高温が予想される8月は、みなさまの安全を考慮し休止しております。

なお、9月も気温の状況により休止になる場合もございます。ご理解とご協力をお願いいたします。



かわら版についてのお問い合わせは

小石川後樂園サービスセンター 03(3811)3015

広報係(協会の事業全般に関するお問い合わせ) TEL 03(3232)3011 ※8:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除く) 指定管理者 公益財団法人 東京都公園協会

かわら版

小石川後樂園

第186号

令和8年
8月10日
発行

お得な年間パスポート

- 小石川後樂園用●
一般:1,200円
65歳以上:600円
- 都立9庭園用
一般:4,000円
65歳以上:2,000円

公式X(旧Twitter)やHPでは、園内の開花状況や見どころ、催事情報などを、随時ご案内中！

X(旧Twitter) @korakuenGarden



HP「公園へ行こう！」



9庭園インスタグラム

